



ちだ きいち
千田 喜一 さん（南矢幅6区）

—傍聴のきっかけは。
知り合いの議員から「議会傍聴も面白いよ」とお誘いをいただき、参りました。

—傍聴してみて、率直な感想をお聞かせください。
大きな視点に立った内部統制の提案や不登校の状況など、個別の問題にも踏み込み、町内の多岐にわたる内容について議論しているのだなと思いました。また、答弁の内容も詳細で、町職員の苦勞も感じました。

—関心を持った部分は。
ちょっと前の情報で矢巾町の人口は増えていると思

い込んでいましたが減少しているとのこと。こんな中での対策として、安心して子育てできる環境整備が重要だと思いました。

—議員の仕事について思うことはありますか。
正直、議員の仕事を把握していませんでしたが、地域の皆さんの意見を聞いて町政運営に反映しているのだなと思いました。

—最後に一言お願いします。
今後も町政運営についての活発な議論を期待しています。

議員の資質向上 AI研修実施



令和7年12月24日、矢巾町政調査会の研修事業として、議員の資質向上を目的とした「AI研修」を実施しました。
矢巾町議会アドバイザーの佐藤 淳教授（青森大学）を講師に迎え、チャットGPTなどの使い方について見識を深めました。

研修を通じて

横澤 駿一 議員

今回の研修では、これからの時代に欠かせないAI活用について学びました。
社会の変化が急速に進む中で、議会としてその流れに取り残されないためにも、AIも一つのツールとして活用し、政策提言のスピードと質を高めていくことが重要だと感じました。
意見集約や会議記録、情報収集など実践的な学びを得ることができ、町民の皆様と共に歩む、より開かれた議会につながっていききたいと強く感じています。